

新しいまちづくり 構想について

問 これからの取り組みに、コンパクトシティの構築を提案したいと思うがどうか。

企画部長 中心市街地の契機となるよう、松橋駅周辺に基盤整備を行うことで人や物流が活性化され、職住遊の都市機能をまとめた地元密着型のコンパクトシティを目指す。



問 市に4箇所の物産館が、うまく運営されるか心配するがどうか。

市長 正直言って、アグリパークとは競合する向きもあるうかと思うが、お互い競争する中で成り立っていくものと思っており、他の物産館とは内容が違われ、競合しないと思っている。

行政評価制度が必要となってくる。

水問題について

問 都市化した雨水、洪水対策や干拓地、低地域の排水災害対策について、市役所周辺から南西部、海岸まで大雨や高潮、満潮時間が重なれば一気に冠水し、一面湖水と化する現状をどのように捉えているか。

市長 集中豪雨により、内水被害による人的被害の発生や、避難活動への対策が急務となっており、河川管理者と自治体が共同して緊急的に実施する総合対策事業を検討協議、また、市独自の将来にわたって抜本的対策を講ずる。

問 農業用水の確保とその安定供給について問う。

経済部長 この地域の農業振興から重要であるというところで、新たな水源の確保を図るため、単県調査費により実現可能な方策について検討中。県でも5億円の調査費をつけて、今調査に入っている。

入江 学 議員 財政健全化対策について

問 改革で生じた現状を踏まえて、新市計画は見直し、修正すべきと思うがどうか。

市長 三位一体の改革により、計画の見直しを大幅に修正しなければならぬ。

問 歳入に見合った歳出予算の確立がなされていないと思うがどうか。

市長 市の財政運営は、基本的な収入が支出を下回り、その財源不足を財政調整基金や市債に依存する現状にあり、この様な現状から脱皮するのが喫緊の課題である。改善を行い、健全な財政運営を確立したい。

問 困窮した財政状況であり、施策の精査をし、政策の優先順位により事業の展開をしていく必要があると思う。そのために行政評価制度の確立が一層不可欠と思うがどうか。

市長 真に必要な事業は継承、発展させ、効果が低いもの、期待できないものは見直し、それを検証するためにも



今後県立高校の再編にあわせ対応が求められる（写真は松橋高校）

プの学校づくりを進めるものとなっている。宇城市はこの機会をどのように考えているのか。

教育委員長 宇城市は熊本市を含む県央区域となり、選択肢が広がり生徒を集められると考えている。しかし、松橋・小川両校にとって生徒が熊本市へ流出する心配もある。

問 三角地域振興のための計画を変更し、起債を増やし、コミュニティ棟建設基金を振興基金に変えるやり方は、正しい財政運営とは言えない。旧町時代から過疎の指定を受け、過疎対策が求められている。この現状を踏まえ振興しようとする意思が感じられない。市長の対応に期待をしたい。

教育行政について

問 県立高の再編が進められている。今回の計画は8学区を3学区にし、小規模校を統廃合して、新たに宇土・八代・玉名の3高校に中学校を併設し中高一貫校を作り、さらに普通科系総合学科、あるいは総合選択制等新しいタイ

問 熊本からの入学が増えることを想定した新たな受け皿作りが必要ではないか。

教育委員長 県に対し、松橋高校に国際理解教育・芸術コースの新設を要望している。問 学校名についても宇城高校・宇城工業高校に変更することや、さらに両校を統合し総合選択制・普通科系総合学科校を目指すことも新しい受け皿となるのではないか。

委員会 報告

総務常任委員会

本委員会における審査の経過及び結果を報告する。

●宇城市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「市民病院の医師不足が懸念されるのは、民間病院と比較すると給料が安く当直の回数も多い」と聞くと、手当てで対応するよう検討すべきではないか」との質疑に対し、「現在、事務長、市長、院長との話し合いの中で医師確保について検討している」との答弁があった。



医師不足の解消が求められる宇城市民病院

●平成19年度宇城市一般会計補正予算（第4号）について

○債務負担行為補正について

「小川支所駐車場土地賃借料が上がっているが、今後支所は縮小し、駐車場利用も減少していく。賃貸借契約はこれからも継続するか」との質疑に対し、「今後、縮小する支所の活用等も含め検討する」との答弁があった。また、「これまで旧小川町でも色んな経緯の中での賃借料になっていたので、今後契約者とは『市としてはこれまでのような高い使用料は出せない』といった話し合いは当然必要になる。今後そういった交渉が是非必要と思うがどうか」との質疑に対し、「以前、小川町においても交渉の結果賃借料の削減ができた」と聞いている。職員としてもこれまでの行政運営といった考えから行政経営という考え方で今後取り組んで参りたい」との答弁があった。

建設経済常任委員会

本委員会における審査の経過及び結果を報告する。

○宇城市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

「入居については抽選になると思うが、そういう場合には、地元の方を優先するのか、あるいは他地区からそこに移住されてくる方々を優先するのか」との質疑に対し、「公開抽選をするので、優先という言葉は当てはまらない。豊野に住んでいる方、豊野以外から申し込まれた方、条件は一緒

になる」との答弁があった。

○宇城市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「各町利用料金がばらばらであるのを、今回、この条例改正で統一することか」との質疑に対し、「そのとおりである。今、5地区で農業集落排水事業を行っているが、一番料金の高い三角町の浦地区に統一をする。公共下水道が本年4月に料金改定をしているが、公共下水道並みにするということである」との答弁があった。

○平成19年度宇城市一般会計補正予算（第4号）について

「農林水産業費、漁港改良費の中に、災害資料館用地購入費とあるが、これは資料館を建てるのか」との質疑に対し、「現在建物が建っているところを購入し、その一部の活用を踏まえ、平成11年の台風18号の災害の爪あとを残すような構造物等を検討している。現在、県及び水産庁と協議を進めている」との答弁があった。

次に、「公園管理を各地域に委託しているが、これに対し地域